

# 着床前胚のライブセルイメージによる核小体の形態と発生能の解析 研究実施のお知らせ

## 1. 研究の対象となる方

2018年1月1日～2025年12月31日の間に山梨大学医学部産婦人科を受診し、体外受精・胚移植法を実施した方

## 2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2026年12月31日

## 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年7月1日

## 4. 研究の目的

ヒトを含む哺乳類の体外受精技術は、自然妊娠と比較して出生率は低く、さらに、胎盤異常や生活習慣病のリスクに結びつくことが明らかになっています。これは体外の環境が胚に影響を及ぼすことによると考えられます。申請者らは実験動物を使用した研究で、体内受精と体外受精で核小体の形態が異なることを発見しました。また、体外受精では培養液の種類など胚が曝される環境の違いによって、核小体の形態と機能が変化する可能性が示唆されました。

本研究課題では、胚環境が核小体に与える変化に着目し、体外受精における産子率が低い原因および周産期・生活習慣病との因果関係を明らかにすることを目的とします。

## 5. 研究の方法

本研究では本院に診療記録として保管されているタイムラプスインキュベーターで撮影した画像を使用して核小体の形態の経時的変化を評価します。そして、受精方法や使用した培養液等の胚発生に関わる環境条件と核小体の形態の関連、発生率および妊娠・出産の予後についての相関性を比較検討します。

## 6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ、タイムラプス動画

試料：該当なし

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学生命環境学域 教授 岸上哲士

メールアドレス：skishigami@yamanashi.ac.jp

Tel：055-220-8510

## 9. 試料・情報の管理について責任を有する者

国立大学法人山梨大学

## 10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

## 11. 利益相反について

利益相反はありません

## 12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学医学部産婦人科 教授 吉野修

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

Tel：055-273-1111